

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	骨関節系機能学Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期	教室名	301
担 当 教 員	荒木 将平	実務経験と その関連資格	理学療法士として回復期病院、介護老人保健施設に勤務経験あり。臨床実習指導者の経験もある。			
《授業科目における学習内容》						
理学療法士は「運動」を扱う。そのため、動きに関係する骨・筋の知識は必須である。また、筋への指令に関する神経系、動きを感じるための感覚系についても熟知しておく必要がある。本科目では特に「筋」について視覚的観察と触覚的観察を中心に学習し、「運動」がどのように行なわれているのかを理解することが目的である。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験を以て評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
リハビリテーションビジュアルブック 標準理学療法士・作業療法士 解剖学(第4版)						
《授業外における学習方法》						
教科書等を用いて講義内容の予習・復習をする。						
《履修に当たっての留意点》						
教科書等の忘れ物に注意し、課題の提出期限も厳守すること。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	頭部・脊柱・胸郭の骨について名称が説明できる。	教科書	教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	頭部、脊柱、胸郭の骨について			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	頭部・脊柱・胸郭の関節について名称が説明できる。	教科書	教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	頭部、脊柱、胸郭の関節について			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋の構造や収縮様式を説明する事ができる。	教科書	教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	筋組織、筋構造、筋収縮について			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	上肢の筋について各名称が説明できる。	教科書	教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	上肢筋の名称について			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	上肢の筋について起始の名称が説明できる。	教科書	教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	上肢筋の起始について			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	上肢の筋について停止の名称が説明できる。	教科書	教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	上肢筋の停止について		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	上肢筋の作用が説明できる。	教科書	教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	上肢筋の作用について		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	上肢筋の特徴について説明できる。	教科書	教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	上肢筋の特徴について		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	下肢の筋について各名称が説明できる。	教科書	教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	下肢筋の名称について		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	下肢の筋について起始の名称が説明できる。	教科書	教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	下肢筋の起始について		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	下肢の筋について停止の名称が説明できる。	教科書	教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	下肢筋の停止について		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	下肢筋の作用が説明できる。	教科書	教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	下肢筋の作用について		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	下肢筋の特徴について説明できる。	教科書	教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	下肢筋の特徴について		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	頭部・脊柱・胸郭の筋について各名称が説明できる。	教科書	教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	頭部、脊柱、胸郭の筋の名称について		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	頭部・脊柱・胸郭の作用について説明できる。	教科書	教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	頭部、脊柱、胸郭の作用について		